



寿楽荘だより

発行：社会福祉法人 双葉会
介護老人福祉施設 寿楽荘
編集：広報委員会

〒198-0213 東京都西多摩郡奥多摩町海澤497
TEL 0428-83-2338 FAX 0428-83-3705
URL <http://www.futabakai.or.jp>
e-meil jyurakusou@futabakai.or.jp

第30号



ワタの花：綿の素材をつくってくれる植物で、咲いた時（右）はうすいクリーム色で、しぼむにつれピンク色（左）に変わるそうです。

三つの碑（いしづみ）

介護老人福祉施設 寿楽荘 医学博士 佐藤守雄

「旅人よ」にはじまる玉砕した勇士たちに捧げる詩碑の第一は、ギリシャのテルモピレーの激戦地跡にあります。紀元前480年の対ペルシャ戦争で、スパルタ王レオニダスは傭兵を含め、一千名を率い（傭兵とは今で言う外人部隊のこと。傭兵になると衣・食・住が保証されるので、当時普通のことでした）、テルモピレーの天険で敵の大軍を迎え撃ち、全員玉砕しました。そこに立っている碑には、この書かれています。

「旅人よ、行き給え、スパルタへ。そして伝えよ。この地において、われら一千ものつわものどもは戦死せり。勇敢にも何十倍の敵に立ち向かって祖国に殉じたことを」。二つ目は、大東亜戦争ビルマのコヒマ激戦地にあるイギリス軍の碑です。

「旅人よ、貴下ら帰国の折には、われらこの地において、祖国の明日のために殉じたることを伝えよ」。これら二つの碑は、同国人の名誉のために立てられたものですが、三つ目は、敵将により書かれた点の違いです。太平洋激戦の地、ペリリュー島に立っているもの。昭和57年5月に、青年神職南洋群島慰霊巡拝団により、遙々日本から運搬した材料を使用して、完成されています。この詩の原文は、現在米国のアナポリス海軍兵学校に保存されています。故ニミッツ元帥の手になるものです。

「この島を訪れるもるもの国の旅人よ、あなた方が、日本の国を訪れることあらば、伝えて欲しい。この島を守って死んだ日本軍守備隊の、素晴らしい勇気と、祖国を思うその心根を」。

とここで、ニミッツ元帥は、海軍兵学校生徒の頃から東郷元帥に憧れ、少尉候補生の時に目的を達し（東郷記念館と一緒に撮った色褪せた写真が飾られています）、このことを生涯の想い出として来日しています。この様な方ですから、日本と戦うことを好んでいなかつたと思えます。その故にこそ、日本軍将兵の勇敢闘を賞賛したのだと考えられます。一方ペリリュー島で玉砕された方々は、私が幼少時代を過ごした、水戸に駐屯していた、第二連隊中川大佐以下の将士です。60年近い昔の私の幼年時代、水戸の街を兵隊さん達が隊伍を組んで行進しながら、第二連隊歌を唱和していたの覚えていません。支那事変が泥沼化してからは、その様な光景も見られなくなりました。当時の耳からの記憶を文字にすれば、幼少の頃で大昔？ですから、多少の誤りはあるでしょうが、以下の通りです。

「 嗚呼（ああ）、我が水戸の二連隊、茨城健児のその名こそ、汝（な）は天地（あめつち）に輝かむ 」

10年を経ずしてその人達が、又はその後輩達が、連隊歌の精髓を具現したのです。合掌

敬老感謝祭



「双葉ダーナの会」の皆さんによる模擬店



百歳のお祝い須崎トク様



扇和会の皆さん



青梅交通安全協会女性部の皆さん

平成二十年九月六日(土)に敬老感謝祭を開催いたしました。今年度は百歳のお祝いとして須崎トク様に内閣総理大臣より記念品が贈られました。その他、長寿のお祝いとして九十一歳以上の方が三十六名、九十歳(卒寿)の方五名、八十八歳(米寿)の方八名、八十歳(傘寿)の方六名、七十七歳(喜寿)の方十二名、七十歳(古希)の方一名が節目のお祝いをいたしました。式典では、町長はじめ来賓の方々による祝辞と記念品を頂きました。

第二部では、青梅交通安全協会女性部の皆さんによる交通安全劇場、扇和会の皆さんによる日本舞踊を楽しんで頂きました。また、「双葉ダーナの会」の皆様のご協力により模擬店が開かれ敬老感謝祭を盛り上げて頂きました。



今年も、氷川
保育園より愛
い「敬老お祝
のポスターが
届きました。
の場をおかし
まします。礼
上げます。

東京都福祉サービス第三者評価結果報告について
8月21日(木)、NPO法人福祉経営ネットワークにより、評価結果報告書報告会が行われました。
詳細は『とうきょう福祉ナビゲーション・福祉サービス第三者評価』で結果を確認することができます。(http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/)

介護サービス情報公表制度による訪問調査の実施に関して昨年に引き続き、介護サービス情報公表制度による訪問調査を、株式会社販売促進研究所により9月17日に受審しました。
調査結果の公表に関しては「東京都指定情報公表センター」(http://www.tokyo-jkc.jp/kaigosip/Top.do)で確認いただけますので是非ご覧下さい。

インフルエンザ予防接種について

インフルエンザウィルスを心配する季節が近づいてまいりました。職員への予防接種も励行してまいりますが、利用者の皆様へもアレルギーなど接種困難な理由がある場合を除き予防接種をお奨めいたします。

費用は1回につき2,200円で、接種は1回行えば十分とのことです。

接種して頂く時期としては11月中旬から12月中旬頃が理想的とのことです。

お申込は、双葉会診療所若しくは看護師へお願いします。



日常生活・行事活動状況



8月7日 小学生ボランティア
ご利用者様と一緒に体操をしたりトリハビリの
手伝いをして頂きました。



7月13日 スイカ割り
保育園児を招きご利用者皆様
楽しまれていました。



慰問 8月23日 アロハフラ
華麗な踊りを披露していた
できました。



8月3日 盆踊り大会
盆踊り大会には大勢の方がお集まりになり花火に
模擬店（焼きそば、焼き鳥など）で皆さん楽しまれ
ていました。



慰問 8月2日 神庭神楽



慰問 8月3日 下中組獅子舞

本広報誌に記載しております、お名前・写真につきましてはご本人、若しくは
ご家族より承諾をいただいた上で掲載しております。



ため中止になりました。スポーツ大会は天候不良のため中止になりました。

十月一日に予定している、スポーツ大会用にグラウンド(駐車場)へ奥多摩町社会福祉協議会を通じて昭和石材工業所様より「整備用の砂」を頂きました。この場をおかりししてお礼申し上げます。

平成二十年度 曹洞宗社会福祉施設連盟研修会
寿楽荘では創設者が曹洞宗の住職だったことから曹洞宗社会福祉連盟に加入しており、神奈川県横浜市鶴見区にある曹洞宗大本山總持寺において、七月四・五日に三名の職員が研修会に参加しました。研修では鶴見大学・柳澤学長による「生老病死と福祉」、曹洞宗社会福祉連盟・野田理事長より「福祉の心と実践」を講演を行いました。講演に対しての検討会を行いました。また、坐禅や朝課(読経)、作業(掃除)などを体験してきました。



自衛消防訓練効果確認について

9月9日に奥多摩消防署立会いにて、自衛消防訓練審査会が行われました。夜間を想定しての、火点確認・通報・初期消火の他、利用者の避難誘導に重点をおいた一連の訓練内容確認が行なわれました。今後も全職員で様々な訓練を積重ねることにより、寿楽荘利用者の皆様が災害のない安心した生活を送れるような施設でいられるよう努力してまいります。



ご注意下さい

お車にてご面会に見える際には、天気にご注意下さい。台風による大雨や、今後冬になり降雪で青梅街道が封鎖されることがあります。日陰では路面凍結している場所も発生します。お出掛けの際は、路面状況をお電話でお伝えさせていただきます。

今後の行事予定

- 10月
 - ・スポーツ大会
 - ・買い物バス
 - ・マス釣り
 - ・湯豆腐会
- 11月
 - ・紅葉ハイク
 - ・紅葉会喫茶
 - ・買い物バス
- 12月
 - ・成道会
 - ・忘年会
 - ・買い物バス



お願い

利用者ご家族の住所変更等で、ご連絡をお願いいたします。

編集委員紹介

- 広報委員長 村木 務
- 編集委員長 清水 介
- 編集委員 青木 栄
- 池田 務
- 坂本 介
- 島崎 務
- 中村 介
- 牧野 介
- 牧野 看
- 三富 介

(編集委員五十音順) 上記委員により今後も寿楽荘だよりは定期的に刊行される予定です。